



まらり・たちかわ

編集・発行＝たちかわ市民交流大学 市民推進委員会 情報広報部／立川市教育委員会 生涯学習推進センター

たちかわ
市民交流大学
いよいよ

10月
開講

しま～す!

ともに
集い、学び、楽しむ

◆講座や教室づくりに参画する◆

▶市民推進委員会の会議で、「まらり・たちかわ」もここで生まれました。



◆講座や教室を受講して学ぶ◆

▶市民講師人材フェアで、将棋に挑戦する子どもたち。



市民がつくる
学びの場

～関わりのかたち あれこれ～

◆サークルなどが講座を提案する◆



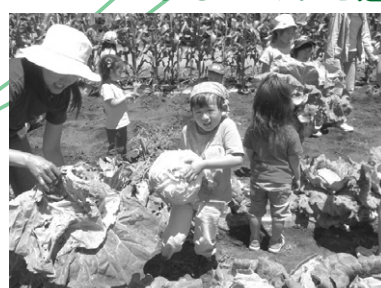
◀「ファーレ倶楽部」の案内で街のアート作品を鑑賞。

◆講師などとして参画する◆



◀市民講師人材フェアで講義する生涯学習市民リーダー。

◆学習を通して地域づくりやまちづくりを進める◆

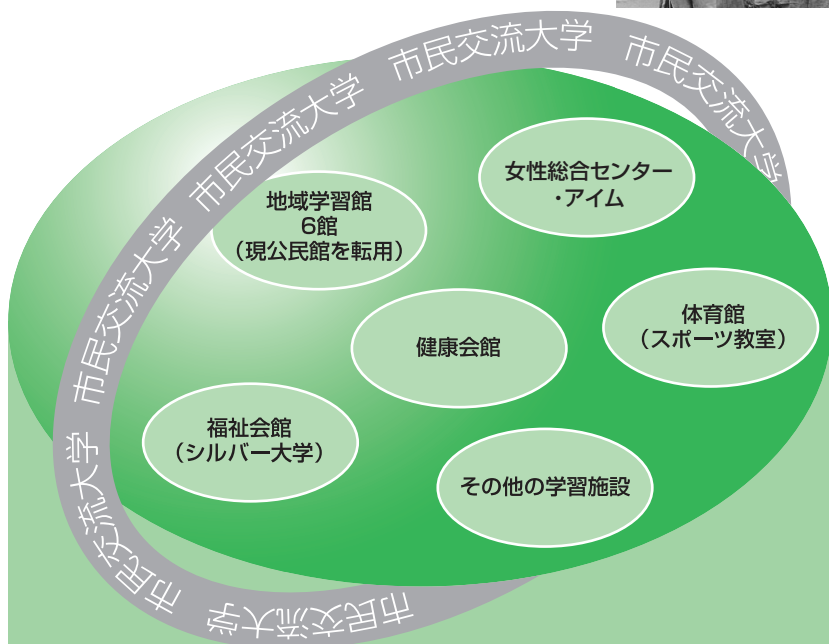


◀「大きなキャベツ!」家庭教育講座で農業体験。

開講記念フォーラムを開催します。
くわしくは2面へ。



市民と行政が手を携え
より生き生きとした
文化都市「立川」を目指します!



市民企画講座

行政企画講座

団体企画型講座

講座事業

市民交流大学は、これまで行政が中心となってきた多様な講座学習を、「市民交流大学」の名のもとに体系化し、市民の総合的生涯学習の場として、市民との協働により充実、発展させていこうとするものです。市民交流大学では、①市民推進委員会による市民企画講座、②行政による行政企画講座、③市民活動団体やサークル等の提案による団体企画型講座の3つを通して市民の生涯学習の場を充実させていきます。



くわしい講座の情報は、

情報誌 **まらり・たちかわ** で。
地域学習館（現公民館）や地域の会館（学習等供用施設）などで9月10日から配布します。

情報誌の表紙にも使用されているこのマークは「まらり・たちかわ」のために人の動きと成長する樹木をイメージしてデザインされたものです。
デザイン:グラフィックデザイナー 深水雅一郎さん(幸町)

★原剛の環境学ABC

回	内 容
1	環境とは何か。足元からとらえる
2	地球温暖化と立川の自然
3	食べ物の安全と環境の保護
4	水と森と環境
5	トヨタはなぜ低公害車プリウスを作ったか
6	中国の環境と農業に今なにが起きているか

身のまわりの環境について
考えてみよう

★斎藤陽一の美術サロン

美術のおもしろさを楽しみながらじっくりと学びましょう。あざやかな色彩と光あふれる絵画で日本人に最も人気のある「印象派の画家たち」をとりあげます。

美術館で
より楽しく過ごすために

★大串夏身の知的探検塾

都立中央図書館に長く勤務した講師から、図書館を活用し、パソコンを駆使して、あふれる情報から必要なものを調べたり整理したりする技を学びます。

今、
図書館がおもしろい！

■パネルディスカッション
「すくすく育つ『食』ってなあに
～立川の食育を考える」

子どもの健やかな心と身体の成長に欠かせない「食」。幼稚園の園長や農業従事者、子育て中の方、栄養士をパネリストに、地域に根ざした「食育」について考えます。

《日時》10/16(火) 午前10時30分～正午
《会場》砂川学習館(現砂川公民館)
《コーディネーター》
食育コーディネーター・大村直己さん
《定員》100人(申込順)
《その他》保育あり(定員16人)
《申し込み》9/11～、生涯学習推進センター
(☎527-5757)へ

講座ピックアップ

10月以降に開催する市民企画講座、行政企画講座の中から、6つの講座をピックアップして紹介します。



★ローンボウルズを楽しみませんか

ジャックという標的球に自分のボールを相手よりも近づけることで勝敗が決まるゲームです。ボールの重心が片寄っているの、頭脳プレーが要求されます。集中力アップと健康増進に。

芝生の上でボウリング

■インターネットでまちづくり
～市民にやさしい情報政策

市民主体のまちづくりに必要な情報政策について、先進事例を通して学びます。

回	日程	内 容
1	10/18	大和市の取り組みを振り返る
2	10/25	全国の先進的な取り組みの紹介
3	10/31	情報発信してみよう!

《日時》10/18(木)、10/25(木)、10/31(水)
(全3回) 午前10時～正午
《会場》柴崎学習館(現中央公民館)
《講師》東海大学准教授・小林隆さん
《定員》20人(申込順)
《申し込み》9/11～、生涯学習推進センター
(☎527-5757)へ

このほかにもいろいろな講座があります。くわしくは、情報誌 **まらり・たちかわ** をご覧ください。

たちかわ市民
交流大学の受講



Q どんな講座が開催されるの？

A たちかわ市民交流大学は、市や市民推進委員会などが実施する全ての講座や教室をわかりやすくメニュー化して開催していくものです。子ども対象講座から子育て、環境、社会、文化・教養、地域づくり、健康づくり、男女共生、消費生活、平和、人権など、今後、市が実施する様々な講座が「たちかわ市民交流大学講座」として開催されることになります。

Q 講座情報はどんなふうに提供されるの？

A たちかわ市民交流大学の講座ガイドを兼ねた情報誌「きらり・たちかわ」を発行しますので、本紙とともにお役立てください。発行月は9月、12月、3月、6月の予定です。創刊号は9月10日に発行します。

A 月に2回発行される「広報たちかわ」や市のホームページにもこれまで通り、講座ごとの募集記事が掲載されます。

A 講座によってはちらしを作成し、会場となる施設などを中心に配布します。

Q 情報誌はどこに行けば見られるの？

A たちかわ市民交流大学の情報誌は、地域学習館(現公民館)をはじめ、地域の会館(学習等供用施設)、女性総合センター・アイム、福祉会館、体育館などで配布しています。

Q 受講申し込みはどうするの？

A 左表(本紙3面)に掲載されている市民企画講座は、9月11日(火)の午前8時30分から申し込みを受け付けます。＜申込先＞に電話でお申し込みを。定員になり次第、締め切りとなります。

A これ以外の講座のご案内・お申し込みは、情報誌「きらり・たちかわ」や月に2回発行される「広報たちかわ」をご覧ください。

Q 受講にあたって費用は必要？

A 受講料は、本年度は無料です。ただし、講座によっては材料費や資料代などの実費がかかる場合があります。

A 講座の受講料については、現在、そのあり方について検討中です。来年度以降は、講座の内容などに応じて受講料をいただく場合がでてきますので、あらかじめご承知おください。

Q 講座はどんなところで開催されるの？

A 講座を実施する担い手によって、地域学習館(現公民館)をはじめ、女性総合センター・アイム、地域の会館(学習等供用施設)、福祉

たちかわ市民交流大学
開講記念フォーラム

まらり・たちかわ
～ともに集い、学び、楽しむ～

たちかわ市民交流大学の開講にあたり、開講記念フォーラムを開催します。市民の皆さんとともに創っていく新しい時代の学びのスタイル。ご参加をお待ちしています。

《日時》9/29(土) 午後2時～4時
《会場》女性総合センター・アイム ホール
《内容》○基調講演(小林文人東京学芸大学名誉教授) ○情報発信・たちかわ市民交流大学 ○アトラクションなど
《その他》入場無料・直接会場へ(定員196人)
《問い合わせ》生涯学習推進センター
(☎527-5757)へ

会館、体育館など、会場は様々です。お申し込みの際は、会場もよくお確かめください。

Q 開催してほしい講座などの要望は？

A 「こんな講座を開催してほしい」など、みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。今後の講座企画に役立てていきます。

◆お問い合わせは、生涯学習推進センター
(☎527-5757)へ。



10月開講の
市民企画講座

*申し込みは9月11日(火)～、申込順。

たちかわ市民交流大学では、市民が企画実施する講座（市民企画講座）に、従来どおり市の職員が企画実施する講座（行政企画講座）を加え、様々な講座をメニュー化して提供していきます。今回は、10月に開講する市民企画講座を特集してご紹介。このほかにも、地域学習館（現公民館）や女性総合センターなどで、様々な講座が行われます。

※講座は申し込み者数が少ない場合、中止になることがあります。
※保育は1歳以上学齢前。おやつ代がかかります。

講座名	講師(敬称略)	内容	日時	会場	定員	備考	申込先
舞台はシルクロード ☆日本との交流から テーマを見つけよう☆	長澤法隆 (シルクロード雑学 大学代表)	日本の植物、楽器などのシルクロード伝来は有名です。 「シルクロード旅行」を知的に楽しむための基礎知識を 現地のスライドを交えてお伝えします。	①10/2、②10/16、③11/6、 ④11/20の火曜日 (全4回) 午前10:00～正午	柴崎 学習館	30人		柴崎学習館 (現中央公民館) ☎524-2773
原剛の環境学ABC	原剛 (早稲田大学 大学院教授)	講座ピックアップへ★	①10/3、②11/7、③12/5、④ 1/16、⑤2/6、⑥3/5の水曜日 (全6回) 午後2:30～4:00	柴崎 学習館	20人		
斎藤陽一の 美術サロン	斎藤陽一 (元NHKプロ デューサー)	講座ピックアップへ★	10/5～3/21の第1・3金曜日 (全12回) 午後2:00～4:00	柴崎 学習館	50人	・保育あり (定員8人)	
公私日記を読もう	若杉哲男 (元東横学園 女子短大教授)	江戸末期に柴崎村(当時の立川)の名主鈴木平九郎が人々の暮らしを記した「公私日記」を原文でひも解き、その歴史を学ぶことで故郷立川を深く探ります。	10/13～3/22の第2・4土曜日 (全12回) 午後1:00～5:00	柴崎 学習館	15人		
江刺祐造と 凧揚げしよう	江刺祐造 (日本の凧の会 世話人)	①凧作りのポイント(基本)の説明ほか、②六角凧制作、 ③角凧(中張り)制作、④立体凧(ボックスカイト)制作、 ⑤奴凧制作	①10/3、②10/17、③11/7、 ④12/5、⑤12/12の水曜日 (全5回) 午前9:30～正午	砂川 学習館	20人	・費用＝1回1,000円 程度の材料代実費 ・持ち物＝エプロン、 小刀ほか	砂川学習館 (現砂川公民館) ☎535-5959
うたごえ 「小林光とみんなで うた・うた・うた」	小林光 (合唱団指導者)	曲の時代背景、作者の思いなどを充分理解して、おもいきり楽しく歌いましょう。その歌と自分の人生を振り返り、多くの人と語り合い、交流の輪を広げましょう。	10/6～3/15の第1・3土曜日 (1/5を除く、全11回) 午後6:00～8:00	砂川 学習館	40人	・費用＝800円 (歌集代)	
原田環爾の 多摩むかし道探訪	原田環爾 (TAMA市民塾 講師)	防人の道、鎌倉道など「多摩のむかし道」には様々な伝説があります。先人たちが残した素朴な遺産に思いを馳せ、教室と野外で小さな旅を味わいます。	①10/16、②11/20、③12/18、 ④1/15、⑤2/19、⑥3/18の火曜日 (全6回) 午前10:00～正午	砂川 学習館	20人	・②・④・⑥はフ ィールドワーク(午 後までかかります)	
家庭で活かす カウンセリング講座	坂田雅彦 (心理カウ ンセラー)	現代の家族関係や人間関係に適した新しいコミュニケーションの知識と生き方のヒントを心理カウンセリングの視点からやさしく解説します。	①10/16、②10/30、③11/13、 ④11/27、⑤12/11の火曜日 (全5回) 午後6:30～8:30	西砂 学習館	30人		西砂学習館 (現西砂公民館) ☎531-0431
関千枝子の 私の昭和史	関千枝子 (元毎日新聞 記者)	講師は広島で被爆した、女性新聞記者の草分け。ある意味で昭和を象徴する施設に囲まれた立川で、当時の新聞を資料に時代を振り返ります。	10/1～3/17の第1・3月曜日 (全12回) 午後2:00～4:00	高松 学習館	30人	・保育あり (定員8人)	高松学習館 (現高松公民館) ☎527-0014
男の生き方セミナー ～笑って、笑って楽 しく過ごそうよ、 第二の人生～	①:下野けい子 (生涯学習市民リーダー) ②～④:江見明夫 (生涯学習市民リーダー)	①男の料理教室(昼飯くらい自分で作ろう!)、②人生再設計のすすめ(仕事人間から地域人間へ)、③健康は“笑い”から(“笑い”が追っ払う、ガン、認知症)、④会社に替わる居場所づくり(飛び出せ!居場所・仲間が)	①10/6、②10/13、③10/20、 ④10/27の土曜日(全4回) 午後1:30～3:30	錦 学習館	20人	・費用＝1000円 (①材料代)	錦学習館 (現錦公民館) ☎527-6743
錦織文良の さわやか文章教室	錦織文良 (元朝日新聞 論説委員)	物事を深く考え、自前の思想を形作ることをねらって、文章作成上の要点であるレトリックを含めたスキルの向上を目指します。自分史を書いてみたい団塊の世代の方やコミュニケーションのツールとして役立てたい方へ。	①10/4、②10/18、③11/1、 ④11/15、⑤12/13、⑥12/20、 ⑦1/10、⑧1/17の木曜日 (全8回) 午後2:00～4:00	幸 学習館	25人	・保育あり (定員8人)	幸学習館 (現幸公民館) ☎534-3076
糖尿病予防気功 (三消九治功)	木原武子 (福祉レクリエ ーションワーカー)	元気な身体と心安らかな安定した毎日を過ごすために、古代中国から伝わる気功を学習します。	①10/5、②10/19、③11/2、 ④11/16、⑤11/30の金曜日 (全5回) 午前10:00～正午	女性総合 センター・ アイム	40人	・費用＝500円(資料代) ・保育あり(定員8人)	生涯学習 推進センター ☎527-5757
立川と武蔵野のかか わり～農に学ぶ人生 の極意～	豊泉喜一 (立川民俗の会)	上農は草を見ずして草をとる。立川に生まれ、立川に育ち、物事には先見性と計画性が必要であることを農業に学んできた講師の人生の極意を伺います。	10/8(月・祝) 午後2:00～4:30	女性総合 センター・ アイム	50人	・保育あり (定員8人)	
自然の不思議を発見 する山歩き	小泉武栄 (東京学芸大学 教授)	なぜこの場所にこんな草木があるのか、山や谷はどうして出来たのか…。なぜ解きを楽しく聞く、自然・山好きな方におくる必須の講座(現地講座4回を含む)。	①10/10、②11/14、③12/12、 ④1/9、⑤2/13、⑥3/19、⑦4/9 の水曜日、⑧～⑫は日程未定 (全12回) 午後6:30～8:30	女性総合 センター・ アイム	40人	・費用＝交通費 等実費	
ファーレアートと 友達になろう！	中島満喜子 (ファーレ倶楽部 会員)ほか	ファーレ立川に点在する36ヶ国92人の作家による109のパブリックアートを丁寧に楽しくご案内します。概説と鑑賞ツアー。	10/14～3/16の第2・第3 日曜日(2月は2/10と2/24、 全12回) 午前10:00～正午	女性総合 センター・ アイム	30人		
大串夏身の 知的探検塾	大串夏身 (昭和女子大学 教授)	講座ピックアップへ★	①10/14、②11/18、③12/9、 ④1/13、⑤2/10、⑥3/9の 日曜日(全6回) 午前10:00～正午	女性総合 センター・ アイム	15人		
生と死を考える	①:アルフォン ス・デーケン (上智大学名誉 教授)ほか	①よく生きよく死ぬ、②死を支える医療とは、③航空機事故から学ぶ人間の生き方、④いのちの輝き、⑤死の看取りと仏教の現在、⑥自宅で安らかな死を	①10/15、②11/19、③12/17、 ④1/15、⑤2/18、⑥3/17の 月曜日(1/15のみ火曜日、 全6回) 午後6:00～7:30	女性総合 センター・ アイム	50人		生涯学習 推進センター ☎527-5757
ローンボウルズを楽 しみませんか ～中高年にはローン ボウルズを～	米田鼎 (東京ローンボウ ルスクラブ理事)	講座ピックアップへ★	①10/1、②10/15、③10/29、 ④11/5、⑤11/26、⑥12/3の 月曜日(全6回) 午前10:00～正午	国営昭和 記念公園	20人	・費用＝入園料 等実費	
立川おはやし講座	立川文化協会に加盟する15のおはやし保存会の協力を得てお囃子を学び、郷土芸能に親しむとともに立川の歴史・郷土の香りを楽しみながら学びます。	○曙東はやし連＝10/3～毎週水曜日、午後6:00～9:00、曙児童会館 ○曙町子どもはやし連＝10/4～毎週木曜日、午後7:00～9:00、高松児童館 ○あずまはやし連＝10/7～毎週日曜日、午後5:00～9:00、東部会公会堂 ○錦東囃子連＝10/6～毎週土曜日、午後7:00～8:30、錦東会会館 ○柴一はやし連＝10/6～毎週土曜日、午後7:30～9:30、しばさき会公会堂 ○心和はやし連＝10/6～毎週土曜日、午後8:00～10:00、松中団地集会場 ○諏訪はやし連＝10/6～毎週土曜日、午後6:00～9:00、柴崎会館 ○高松町お囃子保存会＝10/2～毎週火曜日、午後7:30～9:00、高松児童館 ○立川羽三囃子連＝10/1～毎週月・木曜日、午後7:00～9:00、羽衣町三丁目会館 ○立川錦囃子連＝10/6～毎週土曜日、午後7:30～10:00、錦六会会館 ○錦みよし会はやし連＝10/6～毎週土曜日、午後5:00～7:00、錦みよし会会館 ○八番組はやし連＝10/4～毎週木曜日、午後7:00～9:00、須崎前会長宅 ○五月はやし連＝10/6～毎週土曜日、午後7:00～9:00、西立川児童会館 ○柴西囃子連＝10/2～毎週火・土曜日、午後6:00～9:00、柴崎会館 ○中里神明囃子連＝10/3～毎週水曜日、午後7:00～10:00、中里公会堂	各 10人	・各おはやし会の活動状況により、活動日等が変更されることもあります。			

誰でも気軽に

「大学」と言う名を聞いただけで心が弾みます。新しい試みですから、失敗を恐れず第一歩を踏み出していただきたいものです。

私は、お店経営やボランティアを通じて、長年地元の方々と接してきました。これまで公民館はサークルに所属していないと利用しにくいと感じていましたので、市民交流大学は個人でも気軽に行ける場になることを期待しています。伴侶を亡くした高齢者が若い親子と交流出来る場、父親たちが子どもと集う場など、今までの公民館をさらに発展させていきたいと思っています。

師岡恵美子さん

(ボランティアグループ木莓)

親子参加でいい経験

「すくすく食育畑」農作業で知る食の大切さで、種まきや収穫など、親子でいい経験をしています。小さな子どもでも参加できるプログラムはありがたいです。

これからも続けて欲しいけれど、スタッフの準備と運営力がなければ成り立たない講座だと思っています。それを市民ボランティアが支えてくれたらうれしいかも。今は子どもが小さいので参加する側ですが、いつかは支える側にもなれるかな？

南波美佐さん(公民館家庭教育講座参加者)

変わらないで

立川市には、他市にはない「寿教室」が9つあり、ありがたいことだと思います。

公民館が地域学習館に変わること、寿教室の質が変わってしまうのではないかと不安です。私たちは寿教室が今まで通り変わらないことを希望しています。

会員は皆さん60歳以上で、毎週1回コーラスやダンスなどを習い、なかよく余生を楽しんでいます。見学会やバスハイクもあり、活動のための予算が削られないことを願っています。

五ノ井恵さん(砂川寿教室運営委員長)

市民力を出し合おう!

自主企画講座に公民館のノウハウをプラスして誕生した「コーラス棟」は17歳になった。

公民館は市民の学習の場(家庭教育や自分さがし等)を提供してくれ、また自主性を育てることも車の両輪のように用意されていた。選んで参加できる自由、講座の多面的な切り口は今思えば市民交流大学の土台と言えるかな。昨年の「生涯学習市民フォーラム」に参加して、時代の趨勢ということで受容した次第。市民力を出し合う時の到来だ!

小林利江さん

(コーラス棟)

今後の関わり

私たちは、東京オリンピックのころ16ミリ発声映写機操作の資格をとり、「シネマ16」と銘打ったグループで、小学校PTAや保育園、地域、老人会などで映写技術を駆使して活躍してきた。

近隣市と交流ができたのもつと活動が広がるのではないかと。このところ仲間が高齢化しているが、次世代を担う若者を育成していない。DVDの時代で自然に需要が減少しているからだ。

市民交流大学とは、どのように関わっていったら良いのか見えてこないので現状だ。

宇佐美修司さん(シネマ16代表)

まちの声

たちかわ市民交流大学の開講に向けて、たくさんの方々からお言葉をいただきました。

男性は退職後、地域に友達がいなくてからね。趣味を広げ友達を作る目的でシルバー大学に参加し、水墨画や篆刻などを3年ほど学んでいます。山登り仲間もいますが、いろんなことに関心をもち、継続することが大切かなと思います。

市民交流大学は、参加者層が広がり、若い世代が土日を利用して参加できるようになるとよいですね。

年金生活者にも参加しやすい費用を設定して欲しいです。ボランティアしたいときに相談できる窓口があると

ありがたいです。

遠藤勝照さん

(シルバー大学参加者)

友達づくり

参加しやすい環境を

広報紙は、興味をひく項目以外は読む機会が少ないです。紙面が小さい活字で埋まっていると読みづらいので、イラストなどが多く、親しみやすい紙面を期待しています。

市民交流大学の参加は、内容や日程によって左右されます。さらに保育などがあると参加しやすいと思います。

市民交流大学の情報については、今まで関心もなかったもので、実態がわかっています。

阿部さん・佐藤さん(泉市民体育館利用者)

公民館の「高松子ども科学あそび隊'07」に参加しています。児童館にはよく遊びに行くけど、公民館は初めてです。

ここで勉強するのは、ほかの学校の人と友達になれたり学校で習わないことができたりして、とても楽しいです。

教えてくれる大学生のお兄さんやお姉さんたちがたくさん来てくれるので、わからないことは聞きやすいし、とってもわかりやすいです。

これからの、こういうことをたくさんやってもらいたいです。

滝澤諒弥くん

(若葉小・4年生)

学校にはないつながり

市民は一人ひとりが豊かな人生経験を積んできています。文化、芸術、学術、技術、技能、その他各分野での活躍、職業での知識、経験等があります。市民交流大学は、市民の持つ知識、経験の交流の場であるとともに「心を通い合わせる」こともねらいだと思います。

公民館が地域学習館になるにともない、各地域の特色を活かした講座の工夫もしくくなり、参加の機会もできます。団体、個人とともに情報の発信者、受信者として「市民交流大学」に参加しましょう。

生涯学習により「心の絆」をより強くして、文化の香り豊かな「まちづくり」の推進を!

柴俊男さん(立川市文化協会会長)

たちかわ市民交流大学の開幕です。この大学は多くのみなさんに親しんでいただく、生涯学習の場です。生涯学習は、堅苦しいものではありません。年齢や学歴とは関わりなく、生きがいを見つけ、友人との絆を強く、心豊かな暮らしを創ろうとするものです。

この旗印の下に、40人余の市民が自発的に参加。みんなで話し合い、知恵を出し、協力して20余の講座を編成しました。ふるさと立川を見直し、発見する「立川学」に、楽しい町にしたいとの思いを込めてあります。豊かな教養を育む糧、人生の一大事、そして楽しい自然との関わりなども織り込んでみました。

あなたの参加をお待ちしております。教室で会いましょう。

鈴木茂夫さん(市民交流大学市民推進委員会会長)



立川学